

breakable

# 恋のたそがれ

山口貴義 監督作品

監督・脚本 山口貴義／出演 平林広宣／安部聡子／菅野敬子／製作 平田耕史／撮影 塩田明彦／音楽 本多信介  
制作・配給 FAR EAST FILMS 1993年／モノクロ／111分 33 70分 ©FAR EAST FILMS



# 恋のたそがれ

breakable

割れそうで割れない微妙な息吹が他に類を見ない美しい音を奏でている

長崎の土産物に、びじろろというものがある。別名ぼっぺん。薄い硝子でできた笛のような玩具で、吹くとその別名の通りぼっぺんと音がする。ぼくはこの玩具が嫌いだ。というか、恐いような気がする。割れるのではないかと心配で、思いきり吹くことができないのだ。

山口貴義の「恋のたそがれ」を観ながら、ぼくは何故かこの他愛もない玩具のことを思い出した。登場人物たちが皆、今にも壊れてしまいそうな、実に危

ういバランスで存在しているからだろうか。あるいは恋というものが、もともと壊れやすい、儚い運命にあるからだろうか。いずれにしてもこの作品は

いまにも壊れそうな人たちの、いまにも壊れそうな関係を描いているように思える。力を籠めて吹くと、ばあんと割れてしまいに違いはないから、そ

おとと吹く。従って筋立てには、大きな起伏はない。割れそうで割れない微妙な息吹が物語を静かに押し進め、結果としてびじろろのように特殊

な、他に類を見ない美しい音を奏でている。注意深く観れば分かると思うが、この作品には大人は一人しか登場しない。主人公加津山君の上

司である、漫画雑誌の編集長。この男だけが大人で、他の登場人物たちは全員大人ではない。とはいえ、もちろん子供でもない。だからびじろろのように壊れやすく、しかも何とも言えない音を奏でることができるといえる。子供はわけが分からないから強靱だし、大人はわけが分かっているから強靱でありえる。しかしそのどちらでもない青春の中にいる人たちは、強靱になりきれない自分を持って余し、戸惑う。

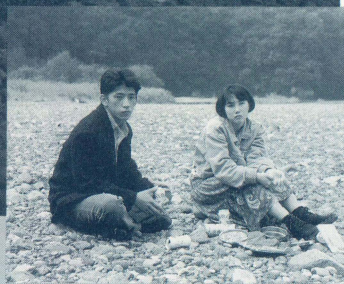
そういうふうにと考えると、この作品のタイトル「恋のたそがれ」は、そのまま青春のたそがれを表しているようにも思える。三角関係に陥ったり、友人に裏切られたり、仕事に行き詰まったり、旅に出て世界を知ったたりすることによって、青春は少しずつたそがれていく。そしていつのまにか自分が、大人らしい強靱さを身につけていることに気づき、その代償として余りにも大きな、美しいものを失ってしまったのだと思えるのだ。

原田宗典（作家）

## 物語

少女コミック誌の編集者・加津山稔は、漫然と転職を考えている。恋人の京子は、〇しを辞めて失業保険で暮らしている。つき合いはじめて二年半、結婚を考えてもいい頃だが、

どちらもその一歩が踏み出せない。そんなある日、超わがままな漫画家・渡辺エミの担当となった稔は、いつしかアシスタント役の妹・ユミに心惹かれていく。一方、京子は京子で、思わぬトラブルに巻き込まれて……。



序盤に何気なく仕掛けられていた一つのエピソードが、中盤、あつけない展開を見せると、あらゆるエピソードが一気に「笑いの素」へと変質してしまふ。終盤は否気に笑い転がっていい。あー、面白かった。

周防正行（映画監督）

この映画は普通の映画ではありません。平田オリザ（劇団「青年団」主宰）

円熟と大胆さの極地を極めた傑作。若さに溺れることなく、またハリウッド映画的なありきなどのドラマツルギーからも離れて、「恋のたそがれ」はまるで息をするかのようにその登場人物たちとともに生きてゆく。山口貴義とその仲間たちは、このデビュー作によって将来を約束された。

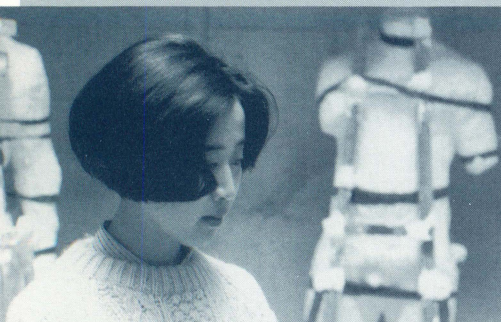
トニー・レインズ（映画批評家）

周防監督が面白いって書いてたから観てみたら、やっぱり面白い映画撮ってる監督が面白いって言う映画は面白かった。70分という上映時間がいい。音楽がステキ。ぼくは京子よりユミの方が趣味。

ケラ（ミュージシャン・劇作家）

CAST 平林 広宣 安部 聡子 菅野 敬子 他

STAFF 製作——平田耕史 監督・脚本——山口貴義  
企画——秋山広和 撮影・照明——塩田明彦  
編集——梅澤 聡 音楽——本多信介



'94年1月14日(金) 水曜休館 30日(日) 独占限定ロードショー

特別鑑賞券好評発売中 / 1,400円

(当日：一般 1,700円 / 学生 1,500円)

11:00(土・日) 12:30 14:00 15:30 17:00 18:30 20:00\*

連日最終回のみ英語字幕版での上映となります。(\*With English Subtitles)  
平日初回ご入場の方(13時まで)に限り当日料金1,200円

SHIBUYA SEIBU

シブヤ西武  
シードホール

TEL 03-3462-3795 (渋谷ハチ公下車・公園通りSEED10階)